

ハザードマップ 洪水(想定最大規模降雨)・土砂災害

● 土砂災害(特別)警戒区域と洪水浸水想定区域

このマップには、「土砂災害(特別)警戒区域」と「洪水浸水想定区域」を図示しています。自宅や職場など、身近な場所の災害発生の危険度を、今一度、確認してみましょう。

土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域とは

〈土砂災害警戒区域〉

地理的条件や居住状況によって、がけ崩れや土石流などが発生した際、そこに住む住民などの生命や身体に危害が生じるおそれがある区域のことです。イエローゾーンと呼びます。

〈土砂災害特別警戒区域〉

土砂災害警戒区域の中でも、特にそこに住む住民などの生命や身体に著しい危害が生じる危険性が高い区域のことです。レッドゾーンと呼びます。

洪水浸水想定区域(想定最大規模・計画規模)とは

災害時に、河岸堤防の破堤や河川氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域のことです。このマップでは、想定しうる最大規模の雨量(概ね1000年に1度の大震:P16~48)と計画規模の雨量(概ね100年に1度の大震:P49~50)の洪水浸水想定区域を図示しています。想定される雨量などは、それぞれ右記のとおりです。



対象流域	想定期間	想定最大規模	計画規模
吉井川流域	48時間(2日間)総雨量	754mm	255mm
宮川流域	24時間総雨量	732mm	274mm
加茂川流域	24時間総雨量	662mm	242mm

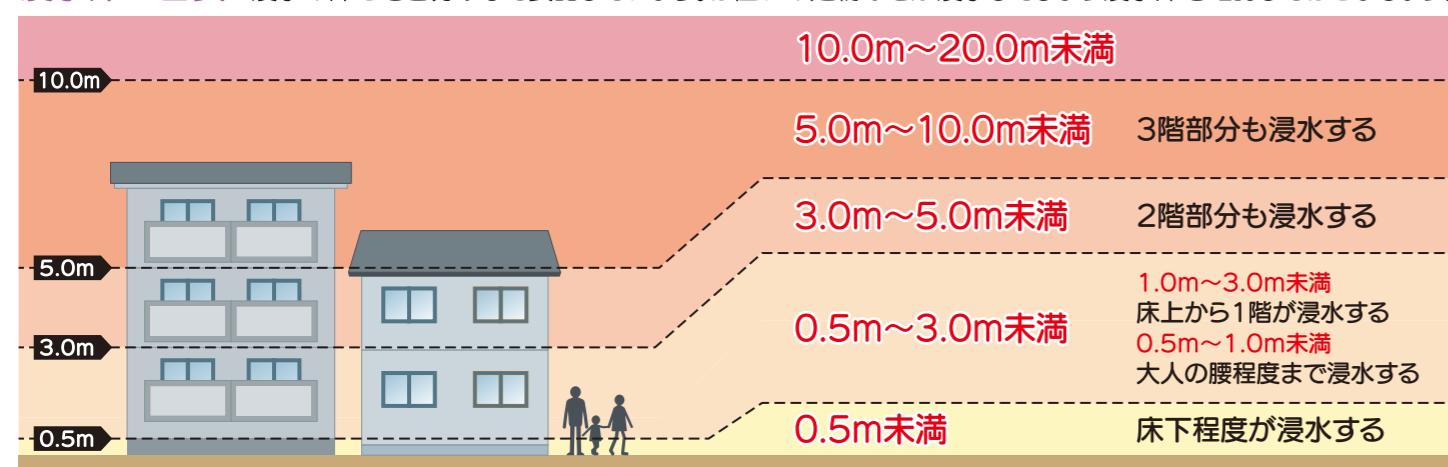
(令和3年10月現在)

● 早期立ち退き避難が必要な区域

洪水浸水想定区域内にあるつぎのような建物にいた場合は、早期の立ち退き避難が必要です。

浸水する深さが最上階に達するおそれのある建物

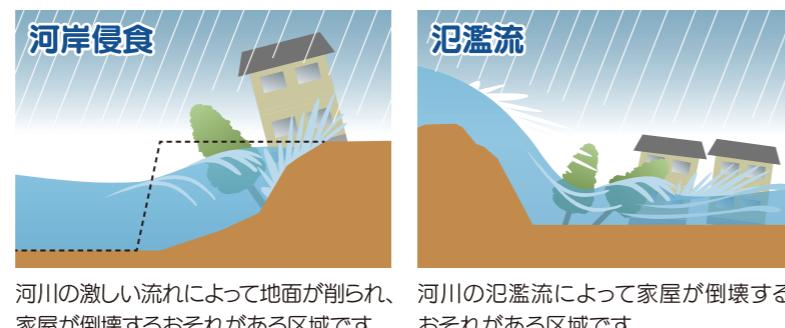
浸水深の目安 浸水の深さを色分けして表記しています。お住いの建物などが浸水してしまう浸水深を確認しておきましょう。



家屋倒壊等氾濫想定区域内に位置する建物

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある堤防沿いの地域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」としています。



索引図

施設等

- 行政施設
- 主な道路
- 高速道路
- JR
- 水部



家屋倒壊等氾濫想定区域

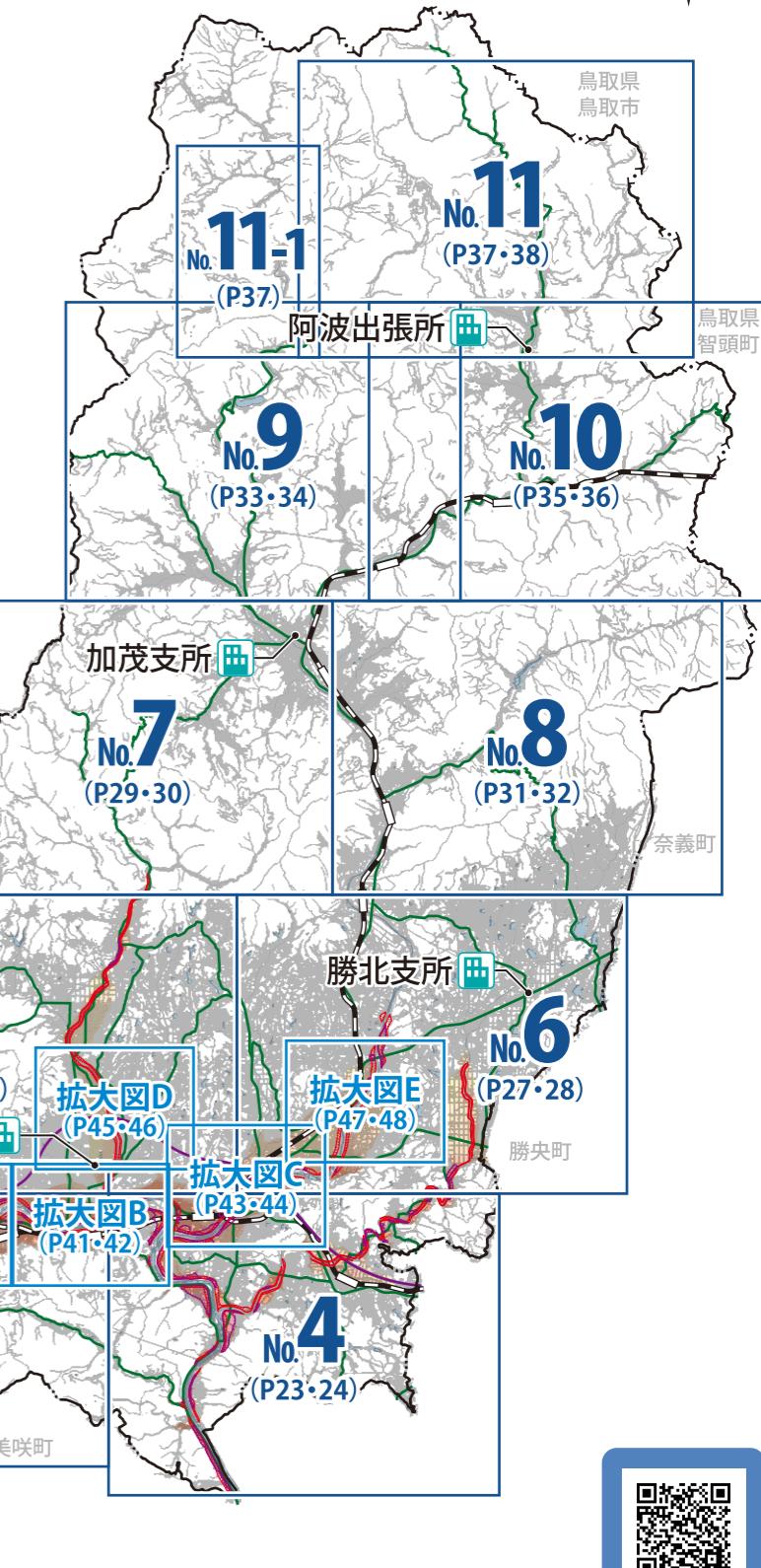
■ 泛濫流 ■ 河岸侵食

洪水浸水想定区域

- 10.0m～20.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

● 要配慮者利用施設

市内にある要配慮者施設は、市ホームページに掲載しておりますので、こちらをご確認ください。



津山市防災
ハザードマップ

* ハザードマップNo.1～11の縮尺は1:25000(拡大図A～Eの縮尺は1:10000)です。